

平成30年度第2回守谷市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 平成31年1月30日（水） 午後3時30分～5時15分
- 2 場 所 守谷市役所議会棟3階第1委員会室
- 3 出 席 者

〔構成員〕	守谷市長	松 丸 修 久
	教育委員会	
	教 育 長	町 田 香
	教育長職務代理者	山 本 キ ヨ
	委 員	河 原 健
	委 員	萩 谷 直 美
	委 員	椎 名 和 良
〔事務局〕	教育部長	山 崎 浩 行
	教育部次長兼生涯学習課長	飯 塚 哲 夫
	学校教育課長	小 島 義 久
	指導室長	奈 幡 正
	学校給食センター所長	坂 登 司 男
	秘書課長	中 山 隆 史
	生涯学習課主査	戸 崎 圭 一

7 協議・調整事項

- （1）平成31年度教育委員会主要事業について
- （2）守谷市立図書館の直営に向けた進捗状況について

8 会議の概要

（教育部長）

只今から、平成30年度第2回守谷市総合教育会議を開催いたします。本日の総合教育会議は、法律により会議の成立要件について特段の定めはございませんが、構成委員であります市長と教育長及び教育委員の出席で成立するものと解釈されています。本日、構成員全員出席であることを御報告いたします。

なお、傍聴の希望はありませんでした。

開会に当たりまして、松丸市長から御挨拶をお願いしたいと思います。

（松丸市長）

皆様、お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

また、日頃から守谷市の教育行政に多大なご尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

平成31年4月から、「子育て王国もりや」の実現に向けたまちづくりの一環として、学校教育改革プランに取り組んでいただくことになります。

プランには、守谷型カリキュラムマネジメントが掲げられており、週3日5時間授業のゆとりある教育課程を編成することが可能となります。

これにより、学習の質が保証され、更に学力の質が向上することを期待しているところです。

また、4月に開催した総合教育会議では図書館の運営体制について協議、意見交換をさ

せていただき、直営とすることについて確認をさせていただきました。

図書館を直営に戻すことにより、学校図書館との連携をより深めていただき、魅力ある学校図書館としていただければと思っています。

本日は、平成31年度の教育委員会所管の主要事業と図書館の運営計画について意見交換をさせていただきたいと考えております。

この会議は、教育の課題やあるべき姿を互いに共有しながら、教育行政を推進していくことを目的としています。

教育行政の課題について、より一層連携を深め、新しい時代の教育の実現に向け、共に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(教育部長)

ありがとうございました。続きまして、町田教育長から御挨拶をお願いします。

(町田教育長)

皆さんこんにちは。市長には総合教育会議を開催していただきありがとうございます。

最近、市長と一緒に奨励金の授与等で小中高生と接することが多くありました。子どもたちが頑張り、表彰される姿に感動している市長を見て、市長の下であれば守谷の教育を前進させることができると感じているところです。

成人式では、新成人がお世話になった保護者、守谷の先生、地域の方に感謝の意を表し、恩返しをしたいので、守谷の教員になると述べていました。

先日、行われた6年生児童が中学校で過ごす交流教室では、私立中学校を目指していた児童が、守谷の中学校の生徒、先生の素晴らしさを見て、私立ではなく守谷の中学校への進学を決めたということがありました。一貫教育として接続性、継続性を大事にしながら子ども一人ひとりに手厚い指導を行ってきた守谷の教育の成果だと思っています。

また、市長にはプログラミング教育、ALTにもお力添えをいただいています。市長の期待に応え「子育て王国もりや」の実現のため頑張っていきたいと思っています。

本日はどうぞよろしくお願いします。

(教育部長)

ありがとうございました。

本日の日程ですが、協議・調整事項として「平成31年度教育委員会主要事業」、それから「守谷市立図書館の直営に向けた進捗状況」についてご協議を頂きたいと思っております。

本会議の主宰は松丸市長ではありますが、形式的な進行については事務局で行わせていただきたいと思います。

それでは、協議・調整事項の(1)「平成31年度教育委員会主要事業について」を議題とさせていただきます。

平成31年度に実施を予定する教育委員会所管の主要事業について、市長と教育委員会との連携を深める御議論をお願いしたいと考えています。

御議論いただくに当たり、資料No.1をご覧くださいと思います。

こちらに、主要事業とし、10事業を一覧として掲げさせていただいております。

新たに取り組む事業、それから重点的に施策を推進していく事業となっており、次のページからの資料の右側上段に、重点・新規の別を記載しております。

それでは、資料に基づき各事業の概要について所管課長から説明をさせていただきます。

(学校教育課長)

それでは、平成31年度学校教育課所管の主要事業の概要について説明させていただきます。

まず、資料No.2-1をご覧ください。「御所ヶ丘小学校校舎改修事業」となります。御所ヶ丘小学校は建築後37年が経過しています。大規模改修工事を実施し施設の長寿命化を図るとともにEV棟を増築しバリアフリー化を図るものです。

続きまして、資料No.2-2をご覧ください。「大野小学校屋内運動場改修事業」となります。建築後36年を経過し、老朽化しておりますので、大規模改修工事を実施し施設の長寿命化を図るものです。

資料No.2-3をご覧ください。「黒内小学校校舎増築事業」となります。松並地区の開発に伴う児童増加に対応するため推計に基づき12教室分の増築を行うための実施設計を行うものです。

続きまして資料No.2-4「郷州小学校校舎改修事業」となります。建築後36年を経過し老朽化しているため、平成32年度から工事を実施するに当たり実施設計を行うものです。

(生涯学習課長)

それでは、平成31年度生涯学習課所管の主要事業の概要について説明させていただきます。

まず、「中公民館改修事業」でございます。中央公民館は建築後36年目を迎えているところです。現在、入札の準備を行っており4月から改修工事に着工する予定となっております。31年度に工事を実施し1年間休館する予定となっております。工事内容は空調機入替、ホールの舞台装置、音響、照明設備の改修、屋上防水、外壁塗装、便所改修、内装の改修となっております。

続きまして、「松ヶ丘小学校児童クラブ建設事業」となります。松ヶ丘小学校の児童クラブ利用者の増加が見込まれるため、専用教室2クラブ分を新設し4教室とするものです。工期は概ね6ヶ月となる見込みです。

(生涯学習課主査)

資料No.2-7「国民体育大会開催事業」ですが、2,858万9千円の事業費となります。内訳は2,100万円が国体実行委員会への負担金、758万9千円が市内推進事業としてのおもてなし等の市民運動の経費となります。

次に、資料No.2-8をご覧ください。国体3市実行委員会の事業となります。歳入が1億6,850万1千円で、歳出も同額となっております。

(指導室長)

資料No.2-9をご覧ください。指導室所管の主要事業についてご説明いたします。

総合教育支援センター事業は、多様化する教育課題である不登校、いじめ、発達障害に対応するため、従前の3事業の教育相談事業、適応教室事業、こころの教室相談員配置事業を統合し、平成28年度4月に、機動性、柔軟性をキーワードに総合教育支援センターとして開設したところです。

事業費は1,583万9千円で、相談員への報酬が主なものとなります。事業目的に示したとおり、生活指導面での配慮、発達障害で特別な支援を必要とする児童生徒、更にその保護者や教職員に対して積極的な支援を行っているところです。

相談員は、専門性の高い者、元学校長経験者が揃っています。センター長1名、検査員

1名、相談員9名、計11名のほか、研修生として市内小学校の中堅教諭が常勤で配置されています。

なお、次年度は学校教育改革プラン「いじめ防止対策」に対応するため相談員1名を増員する予定です。

（学校給食センター所長）

資料No.2-10をご覧ください。学校給食センター改築事業となります。事業期間は平成31年度から平成34年度を予定しております。事業の目的は、給食センターの処理能力に限界がきていること、昭和59年に建築された施設の老朽化が進み、衛生管理基準を満たせない部分があることから、施設の建替えを行うものです。

給食センターの敷地を拡張し、現在の施設を稼働させながら、8,000食規模の新施設の整備を目指しております。

（教育部長）

説明は以上になります。

皆様からご質問等があればお願いします。

－ 質 疑 －

（教育部長）

それでは、ご協議をお願いします。

（河原委員）

学校とか児童クラブ、給食センター等の施設整備については、平成29年10月総合教育会議で、10年間の大規模修繕計画を市長よりお示しをいただきました。その計画が遅れなく進められていること、それに加え、松並地区の児童増加が急速に進む中、黒内小学校も仮設ではなく本校舎を増築、中央公民館と給食センターは、一部改修を大規模改修として計画いただいたことに感謝いたします。

このような教育環境整備の計画は、市民にあまり知らされていない状況がありますので、しっかりPRしていくべきだと思います。

（町田教育長）

守谷で推進している一貫教育、学校の増改築については、入学式及び卒業式で学校長が説明しているところです。また、保護者が集まる機会には守谷が推進している事業について説明を行うようにお願いをしています。情報発信として学校便りに「子育て王国もりや」を掲載する等、保護者に対し啓発を行ったりもしています。

（山本委員）

個人的なPRでは効果は薄いと思います。学校の保護者だけではなく、幅広い年齢の方に公共の場でPRする機会が多くあってほしいと思います。

（河原委員）

総合教育支援センター事業の関連ですが、都市化に伴って学校を休みがちな子どもが増加する傾向があります。家庭の事情で、子育てに十分に手が届かないことが理由であると思います。近隣市で虐待によって亡くなられた小学生について、連日、報道がされているところです。

守谷も都市化が進み、このような傾向が少なからず生じて来ると思います。総合教育支援センターが関わることが、増加していきたくらうと感じています。しっかりと支援できるようにお願いしたいと思います。

(町田教育長)

総合教育支援センターの機能を更に充実させ、様々な支援がセンター内で行うことができるワンストップ化することが望ましいと思っています。そのためにはドクターを配置することができればいいのですが。

(河原委員)

ドクターの配置は難しいかと思います。優秀なカウンセラーであれば可能性はあると思います。

(町田教育長)

ワンストップ化を実現するために、ドクター配置の考えは継続していきたいと思っています。

(松丸市長)

実現している自治体はあるのですか。

(河原委員)

木更津の県特別養護学校が行っていたと記憶しています。

(教育部長)

議論が尽きないころですが時間の関係で、次の協議事項「守谷市立図書館の直営に向けた進捗状況」に移らせていただきます。

(生涯学習課長)

中央図書館の直営に向けた準備状況についてご報告いたします。資料No.3をご覧ください。図書館業務委託等の整備計画について報告いたします

－資料に基づきスケジュールを報告－

続きまして、資料No.4をご覧ください。図書館引継業務・研修計画についてご報告いたします。

－資料に基づきスケジュールを報告－

－生涯学習課図書館G担当から「平成31年度守谷市立図書館運営計画（案）」を報告－

(教育部長)

生涯学習課長から報告がありました。

それでは、ご協議をお願いいたします。

(河原委員)

正直に言えば、次年度からの直営での運営について漠然と不安感を抱いていました。教育委員会定例会では、定期的に進捗状況の報告のお願いをしたところですが、これだけ、しっかりと準備されていることがわかり不安が解消されました。

直営に戻すことについては、市民も高い感心を持っていると思います。教育委員会として「ここは外せない、ここはやらないと」の部分はしっかりと押さえて進めていかないと、直営に戻しても市民から不満の声が聞こえてくることになります。

(松丸市長)

指定管理と業務委託では何が違い、その違いの部分をどうすれば生かしていけるのか、残念なことに行政側でも把握をしきれていないところがあります。今後、その部分を含め指定管理を生かすような発注ができる仕様書ができてくると考えています。

指定管理と業務委託の一番の違いは目的外使用なので、この部分についていろいろと考えているところです。

少なくとも、中央図書館は直営に戻す方向としたので、直営になったら「だめだ」と言

われることがあってはならないことです。職員はやってくれると信じているし、図書館を愛してくれている市民の方もおられるので、理解は得られると思っています。

（町田教育長）

大変素晴らしい運営計画を作成されたと思いますが、図書館は蔵書や人、子ども、多くのことが動くことになりますので、その動きが見えることが大事なことだと思います。その部分についてもお願いしたいと思います。

（河原委員）

市にある幼稚園は私立なので、それぞれの園によって経営方針が異なっています。幼児教育のところで、子ども読書活動推進計画では、3歳児からブックスタートが始まります。小学校へ就学するまでの期間を、どのように幼稚園とタイアップしていくかを考えていただきたいと思います。

（教育部長）

その他として何かございますか。

（町田教育長）

教育委員会として義務教育と幼稚園だけでなく、その上の世代についても考えていくことが必要だと思っています。市長が掲げる「子育て王国もりや」と同時に「いきいきシニア王国もりや」の樹立のために、何をするべきかを課題として教育委員会として取り組んでいきたいと思っています。

一貫教育で途切れることなく、ミドル世代やシニア世代がいきいきと暮らせることにつながることを、これからは大切になってくると思っています。

（松丸市長）

守谷には、多くの人材がいますし、その方たちを子どもに繋げていくことができれば、その人の生きがいにもなり、子どもの力にもなると思います。

人材活用については、教育関係は独自に進めていただいて良いかと思います。教育という目的を明確にすることで人材登録がし易い部分があると思います。

（山本委員）

教育長の言われたとおり、教育委員会として学校教育に偏りすぎの傾向は反省するべきと感じました。更に生涯学習にも力を入れていければと思います。

（松丸市長）

これからも、教育委員皆様のご意見を聞かせていただき、できるだけことはしていきたいと思っています。

委員からもあったように、自分も生涯学習分野には足りない部分を感じています。

生涯学習の推進が、中央公民館等の文化施設を中心として行われていくことを考えれば、指定管理のあり方について、今後ともご意見をいただければと思います。

（教育部長）

これをもちまして、協議を終了し第2回目の総合教育会議を閉会させていただきます。